

(1)2016 年度事業報告

<学生募集>

1. 入試結果

- ・志願者数 2,312 名 (前年度比 116%)
- ・入学者数 960 名 (前年度比 108%)
- ・オープンキャンパス来場者数約 3,375 名 (前年度比 116%)

2. 受験生へのアプローチ

- ・「高校生のハイスクールライフ(恋愛含む)」をベースにマーケットイン、ターゲティング、ポジショニング、ブランド、競争から協創への 5 つのマーケティングキーワードをテーマにした全五話のマーケティング漫画を制作。

3. 高校との関係づくり

- ・協定締結校:10 校
明石商業高等学校、兵庫商業高校、神港橘高等学校、市立神港高等学校、神戸商業高等学校、姫路商業高等学校、兵庫県播磨高等学校、相生産業高等学校、神戸星城高等学校、岡山東商業高等学校

<中退予防>

1. 低単位取得者フォロー

- ・退学・除籍者数 217 名
学修支援ガイダンス、学生・保護者との面談を定期的を実施
学修相談会において、低単位取得者に限らず、申込制で実施。ゼミ教員と学生・保護者との面談を実施
低単位取得者割合 2 年生 31.0%/3 年生 24.3%(2015 年度終了時点 2 年生 34.9%/3 年生 28.2%)

2. 生活習慣の改善

- ・レストラン 100 円朝食の実施
<平均食数>
前期:78 食 後期:75 食。
<1 日 100 食を超えた日>
前期:19 回 後期:12 回
1 日の最大食数:119 食

3. 学生の学内滞留時間アップ

- ・図書館、自習室、5 棟アカデミックサロン、保健室、教職実践演習室、心理学ルームのリニューアルを実施。

<なりたい自分に近づくための学生生活モデル(履修モデル等)構築>

1. 進路別学生生活モデル(履修モデル含む)の作成

- ・19 モデル作成
- ・特設サイト作成(大学ホームページ)
現在 3 業種掲載中(事業承継/公務員/ブライダル業(ウエディングプランナー))

2. なりたい自分発見カリキュラムの改善

- ・1 年次前期終了時、将来の目標が明確になった学生の割合 72.0%
- ・夏季休業中の海外研修(異文化理解)の実施。参加者数:35 名(前年度:15 名)
- ・なりたい自分を発見する為の転学部・転学科面談の実施。
申込件数:2017 年度転学部 22 名/転学科 15 名(2016 年度転学部 13 名/転学科 6 名)

3. オンリーワン教育プログラム

(地域人材育成プログラム)

- ・プログラム登録生 15 名
地域創生をテーマに活動をするミュージシャン「にこいち」への密着取材を通じ、地域創生がなぜ必要であるか、その方法等を学ぶ。

(事業承継者育成プログラム／起業家育成プログラム)

・プログラム登録生 10 名

起業家育成プログラムについては 2016 年度後期より開始したプログラムであり、2017 年度から事業承継者育成プログラムと合同で行うこととなった。また 2017 年度に学内にてプログラム生が実際の起業する事も含めて進行中。

<学生生活>

1. クラブ加入率 60%(2015 年度 43.9%)に向けた施策

・初年次全クラスが参加し、昨年度より加入率は向上し 47.1%であった。

(参考)

全学年課外活動加入率 56.8%

1 年生クラブ加入率 58.4%

1 年生課外活動加入率 69.8%

2. 留学生向けイベントの開催

・RYUKA 留学生クラブには 81 名が入部(1 年生 122 名中 77 名加入。64.2%の加入率)。

・日本語スピーチコンテスト、英語スピーチコンテストの実施(11/12)。

英語(日本人 4 名・留学生 3 名)、日本語(留学生 5 名)がエントリー。神戸商業からも参加(1 名)。

・先輩留学生相談ブース前期 14 回 68 名、後期 14 回 85 名の相談を実施。

<兵庫県内に本社がある企業約 900 社(従業員 100 名以上)とのつながりを持つ>

1. 就職結果

・就職率 98.6%

・卒業者に占める就職者の割合 83.2%

2. 兵庫県内本社所在企業(地元企業)とのネットワーク強化

・企業訪問、合同企業説明会・情報交換会への参加、本学への企業来訪にて年間 900 社とのネットワークを結ぶことを目標に取り組み、2016 年度は 645 社接点を持つことができた。

3. 就職活動に必要な知識・スキルを修得する支援行事実施

・就職ガイダンス

参加者数の実績:2016 年度 3,166 名(昨年度 2,337 名)

・就職対策宿泊セミナー

参加者数の実績:2016 年度 134 名(昨年度 117 名)

・面接練習、GD 練習

個人面接練習 88 名(前年度 63 名)、集団面接・GD 練習 91 名(前年度 84 名)

・筆記試験対策、模擬試験

SPI 対策講座 134 名(年内講座 40 名、2 月講座 94 名)(前年度 128 名)※実人数

SPI 模試 541 名(マーク式 2 回 477 名、WEB 式 64 名)(前年度 350 名全 4 回実施)

・学内企業説明会、業界研究セミナー

企業数 123 社、参加学生数 202 名(昨年度 127 社、130 名)※実人数

<財務構造>

1. 帰属収入に占める人件費割合

・帰属収入に対する人件費率は前年度 62.28%に対して、採用対策により、58.47%となった。

2. 人件費以外の経費に関する見直し

・研究費に関する「不正行為に対応するガイドライン」について対応すべき新規規則の制定。

・2018 年度からの新個人研究費修正案を策定

・3 大経費の予算統制等により、無借金体制及び磐石な財務構造を維持。